

品川区議会公明党 会派報告

品川区議会公明党の活動をご報告いたします

〈平成26年 第1号〉

●発行：品川区議会公明党 幹事長：浅野ひろゆき ●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

“ヘルプカード”を見かけたら、ご協力を！

ヘルプカードとは、障がいのある方が周囲の方へ支援をお願いするとき活用するカードです。

- ヘルプカードを提示されたら支援のご協力をお願いします
- 自分からカードを提示して助けを求めることが難しい方がいます。困っている場面を見かけたら「どうしましたか？」と声をかけてください
- 障がいのある方のなかには、発作やパニックを起こす方がいます。「やさしく」「ゆっくり」と声をかけてください
- 災害のとき、障がいがあるために情報を得ることができず動けなくなる方がいます。ゆっくり具体的に状況を伝えてください

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード



品川区
電話 03-5742-6710

障がいをお持ちの方が周囲の方の「手助け」を求めやすくするため、品川区議会公明党はヘルプカードの普及に努めてきました。品川区では身体障害者手帳・愛の手帳をお持ちの方にヘルプカードをお配りし、精神保健福祉手帳をお持ちの方や自立支援医療受給者等で必要とされる方にもお配りしています。

ヘルプカードには、連絡先や支援してほしい内容を記入できるサブカードもあります。「手助けしてほしいこと」がわからないときには、カードの中を開いてみてください。

第4回定例会 一般質問

「認知症カフェ」の設置など認知症対策の強化を

認知症高齢者の急増に対応するため、初期・軽度認知症の本人や家族が安心して集える場として「認知症カフェ」の早期設置を求めました。

また、徘徊する認知症の人の早期保護や認知症に対する共通の価値観を醸成する目的で、徘徊模擬訓練やメール配信システムの活用、そして小中学生が認知症高齢者への理解を深める機会として、認知症に関する「絵本教室」や認知症サポーター養成講座の開催を要望しました。

区は、認知症カフェ設置およびメール配信システムなど可能性を考えていくとの答弁がありました。

※認知症カフェとは

厚生労働省も設置を推進している認知症の人や家族、医療従事者など、誰でも安心して集える場のこと。認知症の人や家族が社会とつながる居場所であると同時に、認知症の知識を普及させ、住民同士が支え合うまちづくりの取り組み。

魅力ある図書館づくりについて

子どもの読書活動を促す取り組みを更に進めるために、新たに「品川区子ども読書活動推進計画」の策定と「子ども司書養成講座」の開講を提案しました。

また、病気、薬、病院、特にガンに関する展示やコーナー等の設置を行うなど、図書館を健康・医療情報の拠点として活用することや本を片手に図書館を旅する「図書館スタンプラリー」の実施を求めました。

区は、電子図書の配信やタブレット端末の普及など読書を取り巻く環境の変化に対し、国や都の動向を十分注視しつつ推進計画の見直しの時期も含め検討していくと答弁がありました。

その他、「公共工事の契約のあり方」、「軽度外傷性脳損傷・MTBI」の啓発・周知、「土砂災害対策について」、「品川区の健康づくり」について質問しました。

初・品川区議会も災害対策本部を設置

全区一斉防災訓練が行われました

平成25年12月8日、品川区では全区一斉防災訓練が行われました。この訓練は、大地震が発生し、複数の場所で避難所の運営が必要となった場合を想定し、区の災害対策本部と各地域の区民・区職員が連携・協力して、避難所の開設・運営を行うことに主眼をおいています。



これまで品川区議会としての災害対策は策定されていませんでしたが、今回初めて、区議会災害対策本部を立ち上げ、議会として、議員の安否や区民、地域の状況などの情報を収集し、区の災害対策本部と連携し訓練にあたりました。

実際に訓練を行って、情報収集についての課題や避難所運営の改善点などが明らかになりました。今後も訓練を行っていくとともに、この訓練から見えた課題をしっかりと研究し区政につなげてまいります。

区議会 災害対策本部	本部長	議長
	副本部長	副議長
	本部長	議運委員長、議運副委員長

新年度予算(案)が発表されました

防災

- スタンドパイプのセット増配備
- 津波自主避難マップの普及促進、津波避難施設の確保
- 木密地域の耐震化・不燃化の推進
- 木密地域不燃化10年プロジェクト～新たに西品川2,3丁目地区で本格実施
- 学校の防災・避難所機能強化～非構造部材の耐震改修～
- 防災センターを体験型防災施設にリニューアル

子育て

- 私立幼稚園児保護者に対する補助金所得制限緩和の拡大
- 区立保育園・幼稚園における特別支援教育の拡充
- 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の支給
- 待機児童対策として平成26・27年度で893人の受け入れ拡大

高齢者

- 特別養護老人ホーム等整備・開設(杜松小跡、平塚橋会館跡、上大崎3丁目)
- 認知症高齢者グループホーム開設(大井6丁目、東五反田4丁目旧社会保険事務所跡)
- サービス付き高齢者向け住宅開設への支援(西五反田3丁目)

健康

- B型肝炎ワクチン接種費用助成
- 人間ドックの受診助成
- ジェネリック医薬品使用の促進

まちづくり

- ふれあい掲示板の建て替え
- 八潮団地内区道バリアフリー化
- 空き家等の実態調査
- しながわ花海道LED公園灯設置

その他

- プレミアム付商品券の発行
- 若者向け就業体験事業
- 中小企業事業資金融資あつ旋の拡充
- 旅行者企画ツアーを活用した被災地支援
- 学校ICTの推進～指定校にタブレット端末を配備～
- 品川区立発達障がい者支援施設オープン(上大崎1丁目)

視察先と視察内容

品川区議会公明党は行政視察で各地を訪れ、他の自治体の事業を学び品川区政に活かすよう努めています。

視察1 豊島区の自転車駐輪対策に関する先進事例を調査

品川区では大森駅周辺などの放置自転車が問題となっています。かつて池袋駅周辺が放置自転車全国区ワースト1位となり、放置自転車対策に取り組んできた豊島区を訪れました。

豊島区では平成18年に「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」を策定し、自転車法に基づく「豊島区自転車等駐車対策協議会」を設置しました。

JRや地域の代表者など関係者が協議をして地域住民との合意形成を図りつつ駐輪場設置を進めた結果、放置自転車数はピーク時の4,582台から368台まで減少しています。



視察2 伊豆大島の災害現場を視察

伊豆大島は平成25年10月15日から16日にかけて通過した台風26号による豪雨により、大規模の土砂災害が発生しました。24時間で824mmに達する記録的大雨が引き起こした土砂崩れは、想像を超える被害をもたらしていました。

現地では大島町の副町長や議会の議長・副議長との懇談の機会を得て、災害発生当時の模様や復興の現状など体験に基づく貴重な話を聞きながら意見交換を行いました。

自然の驚異を改めて実感するとともに、災害を教訓にして“いざ!”という時に本当に役立つ備えが必要です。



公明党の区議会議員



わかばやし
若林 ひろき 常任 文教委員会 (委員長)
住所: 平塚2-7-13 電話: 3785-4812
メール: h.wakabayashi@shinagawa-komei.org



しのぶ
たけうち 忍 議会 副議長
常任 厚生委員会
住所: 豊町3-7-6-201 電話: 3788-2069
メール: s.takeuchi@shinagawa-komei.org



やまもと
山元 けい子 常任 区民委員会
特別 行財政改革特別委員会 (委員長)
住所: 東大井1-2-13 電話: 3472-5086
メール: k.yamamoto@shinagawa-komei.org



あさの
浅野 ひろゆき 常任 総務委員会
特別 行財政改革特別委員会
住所: 平塚3-9-17 電話: 3787-7319
メール: h.asano@shinagawa-komei.org



たかこ
こんの 孝子 常任 建設委員会 (副委員長)
特別 震災対策特別委員会
住所: 大井6-13-1-212 電話: 3773-7507
メール: t.konno@shinagawa-komei.org



つかもと
塚本 よしひろ 常任 文教委員会
特別 震災対策特別委員会
住所: 西品川2-24-21 電話: 3492-2590
メール: y.tsukamoto@shinagawa-komei.org



ひろお
あくつ 広王 常任 厚生委員会
特別 行財政改革特別委員会
住所: 南品川5-16-50-210 電話: 3471-5869
メール: h.akutsu@shinagawa-komei.org



しんいちろう
つる 伸一郎 常任 総務委員会 (副委員長)
特別 震災対策特別委員会
住所: 小山台1-30-3-206 電話: 6412-7707
メール: s.tsuru@shinagawa-komei.org

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817 FAX 03(3774)3366 Eメール info@shinagawa-komei.org